

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

■調査の目的

義務教育の水準を維持向上するため、教育施策の成果や課題を検証し、改善を図ることを目的に、毎年文部科学省が実施しています。

■調査の概要

〔実施日〕 令和5年4月18日(火)
〔参加状況〕 小学校6年生37名
中学校3年生34名

■実施内容

①教科に関する調査
小学校調査 国語、算数
中学校調査 国語、数学、英語

②質問紙調査
生活習慣、生活意識、学習習慣、学習環境、地域活動、ICT活用、授業改善の取組、学習に対する意欲・関心や授業の理解度など

■結果の公表方法

教科に関する調査の結果は、平均正答率の全国・全道平均と清里町との差を数字ではなく言葉で表現しています。

■教科に関する調査の結果

〔小学校6年生〕 国語・算数とも全国より低く、全道よりやや低い結果でした。算数の「図形」を除いて全般的に全国平均を下回り、

特に国語「読むこと」と算数「数と計算」にやや課題が見られます。

〔中学校3年生〕 国語は全国・全道よりやや低く、数学・英語が全国・全道より低く、英語「書くこと」、数学「数と数式」、「図形」に課題が見られます。

■質問紙調査の結果

小学生は先生との信頼関係に対する質問に肯定的な回答が高い結果となりました。

中学生は人の役に立つ人間になりたいとの回答が高い結果となっていました。

■これからの取組

学習については、引き続き各種支援員を配置し、きめ細かな指導を行っていくとともに、課題のある分野の克服のために、児童生徒の学習意欲を高める授業に取り組んでいきます。

地域の皆様には、学校運営に対するご支援、通学路や公園など地域における日常的な子どもたちの見守りなどをお願いします。

保護者の皆様には、家庭における学習や読書習慣の定着、ゲーム機やインターネットなどの各種メディアの適切な利用についてご指導ください。

■平均正答率の全道・全国との比較 (%)

		小学校6年生		中学校3年生		
		国語	算数	国語	数学	英語
全国との比較	全国	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6
	清里	低い	低い	やや低い	低い	低い
全道との比較	全道	66.0	61.0	69.0	49.0	44.0
	清里	やや低い	やや低い	やや低い	低い	低い

※「-5.1以下=低い」「-5.0~-2.6=やや低い」「-2.5~+2.5=ほぼ同じ」「+2.6~+5.0=やや高い」「+5.1以上=高い」

■質問紙調査の主な特徴的結果 (全国との比較・一部抜粋)

	小学校6年生	中学校3年生
全国平均と比較して好ましいと考えられるもの	<ul style="list-style-type: none"> 家で、自分から計画を立てて勉強をしている児童の割合が高い 「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」との質問に全児童が「している・どちらかといえばしている」と回答 地域の行事に参加している児童の割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 「先生は、授業で理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」との質問に全生徒が「している・どちらかといえばしている」と回答 人の役に立つ人間になりたい(自己有用感)生徒の割合が高い 授業でコンピューターなどのICT機器を使用した頻度が週3回以上である生徒の割合が高い 授業では、考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う生徒の割合が高い
全国平均と比較して課題と考えられるもの	<ul style="list-style-type: none"> 読書をしている児童の割合が低い 学校の授業以外で英語を使う機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 数学が好きですかとの質問に対して、「好き」と回答する生徒の割合が低い 授業以外の勉強時間が少ない

■問い合わせ 生涯学習課学校教育グループ ☎0152(25)2139